

✓性期機能) 病棟へ転換すること、その条件をつくりとくみを進めてきました。障害者施設病棟の一般7対1病床(DPC)への転換は2015年度にずれ込みましたが、他は計画通りに遂行しました。

吉祥院病院はリニューアル完了後の黒字転換が最大の課題でした。地域包括ケア病床への転換による入院収益の安定的確保、在宅医療の拡大と収益増の計画で経営改善の芽は見えましたが、安定した黒字構造へ転換するには至っていません。

京都協立病院は、綾部・福知山構造転換事業の中で、急性期と在宅をつなぐ「架け橋」病院として発展をめざしました。一般病床の入院基本料の類下げ、5月からは段階的に地域包括ケア病床を届出、一般26床、地域包括ケア26床で運用しました。医療療養病床は6月から回復期リハ病床に転換し、12月に類上げしました。引き続き厳しい医師体制の中、病棟転換に挑み、合わせて2年目研修医の受入れ(3名)を成功させました。

法人全体の入院件数は、99・7%、45人減、入院延数は97・4%、5025人減でした。件数は中央増、吉祥院同・協立減です。延数は3病院とも減です。入院数は中央増、吉祥院微増、協立減です。病床占床率と平均在院日数は、病床(病棟)転換の影響が現れています。前・後方との連携を強化しながら、病床(病棟)の運用に努力しました。在宅含む外来患者数、延数はともに減少しました。在宅の増加傾向の一方で、純粹な外来患者減は続いています。その中でも、吉祥

院こどもの回復傾向、ふくちやまの件数・延数とも15%を超える増加、仁和、春日の健闘が特記されます。健診はまいづる、中央太子道、上京が3桁増ですが、全体では減少しています。ワクチンは京都協立、太子道朱雀、上京、吉祥院こども、まいづるが3桁増で全体でも増加しました。

介護事業は、訪問看護(訪問リハ含む)は、太子道(精神科)、上京(訪リハ)、きぼう(訪看・訪リハ)、わかば(訪看、げんき(訪看)が増加しました。病棟転換に伴い訪問リハを全面中止した京都協立の減少分を補い、全体で延数が増加したことが特徴です。訪問介護は、件数は太秦安井、吉祥院、ゆきわり、延数は太秦安井、わかば、吉祥院が増加しました。太秦安井が全体を牽引しています。昨年度、職員体制の縮小で大幅減となったわかばは建て直しの年度となりました。デイサービスは、柏野の利用者(2014年3月閉鎖)をわかばで吸収できず、残り2事業所も大幅減でした。あやべの移転があったとはいえ、事業存続の厳しさは加速しました。居宅支援は、共通の目標にむかって健闘した結果が給付管理数、経営結果に現れつつあります。

企業の社会的責任を果たすとりくみとして、エコアクション21の環境マネジメントシステムを2015年1月8日に認証・登録しました。

2. 民医連運動の前進と共同組織活動

友の会の組織拡大は、会費制から入会金制度に切り替えた中・右京が牽引し、490人(世帯)純増しました。入会率8%指標は、

公益社団法人京都保健会 中期計画 基本方針を定める

昨年度より検討した京都保健会の中期計画を4月に確認し、6月20日の京都保健会定時社員総会で報告しました。当計画は理念、目標、基本方針を定め、期間は2015年度からの6年間、方針の柱は、①京都民医連中央病院移転、②在宅、介護事業など地域包括ケア時代における保健会の展開です。また、2025年に向け「地域から求められる医療介護福祉機能と連携」を可能とするため、安定的経営構造の実現を重視しました。当計画の概要は次のとおりです。

民医連立公益法人——京都保健会の理念実現にむけて——

1. **理念** 民医連綱領を掲げ、地域の医療、介護・福祉、保健予防を提供し、国民の健康で文化的な生活の増進に寄与します。
2. **経営ビジョン(めざす法人像)** 京都型地域医療・包括ケアを実現する公益(非営利・協同)法人として事業を展開します。
3. **使命** ①サービス提供と開発、人材育成、②非営利・公益型の保健・医療・福祉・教育ネットワークの形成。
4. **基本事業** ①五疾病・五事業・在宅医療の観点から医療と地域包括ケア、健康づくりを進める。②保健・医療・介護サービスを研究・開発し、アジア・世界に発信する。③人間の安全保障の観点から、WHOと連携しHPHをすすめる、まちづくり・地域経済に貢献する。④新しい保健・医療・介護サービスを開発できる人材育成。
5. **京都民医連中央病院リニューアルを法人飛躍のチャンスに** 京都民医連で急性期機能を主とした唯一の病院で、医師養成をはじめとする教育機能を担っています。京都西北部の地域医療と地域包括ケアを支援する急性期・教育病院として欠くことが出来ない役割を担わなければなりません。

基本方針—理念を深め、公益性を高める／成長戦略により未来へ投資する中心は中央病院のリニューアルですが、これが目標ではありません。京都型地域医療・包括ケアを実現する府内最大の公益(非営利・協同)法人として、